



コミセンレポ — コミセン、和白5校区などの注目情報です —

地域のサークルや団体が出演する、文化祭や発表会

日頃の活動の成果を、披露します。

夏休みが終わっても、地域のみなさんは体育祭、そして日々の成果を発表する文化祭や発表会など、次のイベント準備に大忙しですね。今回のコミセンレポは、秋以降のイベントを代表する文化祭の情報を集めてみました。年一回の晴れ舞台となるサークルや団体の発表会に加え、出店や体験コーナーなど。地域活動を始める、仲間ができるチャンスになるかも。是非お出かけください。

校区	行事名	日程	内容
和白	和白校区文化祭	11月19日～20日	公民館の武道場でサークル発表。食バザー、絵手紙や折り紙の体験コーナーあり。
美和台	美和台公民館文化祭	10月22日～23日	公民館で開催。22日は子どもの広場、23日は終日、サークル発表が目玉です。
和白東	和白東校区文化祭	10月29日～30日	公民館で開催。29日サークル発表。2日間とも作品展示やバザー出店を予定。
奈多	奈多わいわい祭り	2017年1月29日	公民館で開催。地域が協力して行うイベント。「くじら学校」のお芝居など予定。
三苦	三苦公民館サークル文化祭	11月12日～13日	公民館で開催。12日が舞台でのサークル発表。2日間通して作品展示あり。



コミセン活用術 — 私たちの施設を使って、もっと身近に —

専用のトレーニングプログラムが作れます。

秋から始められる健康づくり

これから食欲の秋です。でも美味しいものをたくさん食べると、みなさんの体重も気になりませんか？そんな方こそコミセン3Fを活用して、スポーツの秋を始めてみましょう！

トレーニングルームでは、スポーツ指導員と一緒に「あなたに合ったトレーニングプログラム」を作成できます。「ダイエットしたい」「お腹を凹ませたい」「体を大きくしたい」など。そんな要望に沿った運動プログラムを作ります。そしてその

プログラムに沿った運動器具の設定や使い方をお教えます。あとは作成した内容に沿って目標達成のために頑張るだけ！開始後は定期的に指導員の指導を受けて、プログラム達成のアドバイスを受けながら徐々に体を作っていきます。プログラム作成を希望する方は、3Fのスポーツ指導員へご相談ください。

今回の活用ポイント

- ◎ 何から始めたらいいか、一緒に考えます。
- ◎ あなたに合った方法でスタートできます。
- ◎ プログラムは定期的に見直します。

※希望者の健康状態などの条件により、プログラムを作成できない場合もございます。



▲ スポーツ指導員が丁寧に指導



▲ 細かく記録でき、少しの変化でもチェック



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX: 092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

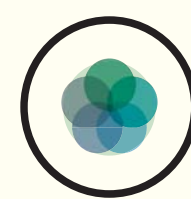
facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる



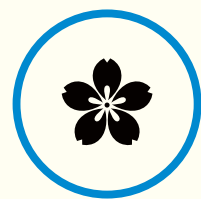
[ワジコ]
wajico vol. 14
2016 Autumn

pick
up

わじろじまん かつてのにぎわいを残す。和白駅の界限

わじろ元気印 防災を考える。博多あん・あんリーダー会東支部



地域  文化

わじろじまん

— 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介します —

かつてのにぎわいを残す。和白駅の界限

「博多港湾鉄道」時代にできた駅

和白校区には、JR九州株式会社香椎線と、西日本鉄道株式会社貝塚線、2つの「和白駅」が並んで存在しています。今回の「わじろじまん」は、和白駅と、駅周辺のまちのエピソードを取材しました。和白駅の近隣で大正10年創業、95年の歴史を持つ材木店の会長である太田稔さんに、当時の話を伺いました。

現在のJR九州株式会社香椎線に当たる路線は、明治33年、粕屋郡内外の石炭開発に伴い、出炭を集約するため設立された「博多湾鉄道株式会社」が整備したものです。明治37年1月には西戸崎～須恵間が竣工し、運転営業を開始します。当初は奈多駅のみで和白には駅がなく、地元の方々が開設の運動を行い、同年12月に念願の和白駅が開駅しました。

「私達が子どもの頃、駅のそばにガラスの工場があった。職人さんたちが長い空気入れの管でガラスを膨らましたり、ビー玉を入れる様子を眺めてました。」この工場は「許斐（このみ）硝子工場」という名前、大正6年営業開始。最盛期にはラムネびん日産3万本を誇る、日本屈指の大工場でした。工場は昭和5年の大火災により閉鎖となりましたが、それまではまちを代表する存在でした。

大正13年には新博多（現在の千鳥橋付近にあった駅）～和白間、大正14年には和白～宮地獄の営業運転も始まるなど路線は拡大し、列車や駅は石炭運搬だけでなく、当時の地域を移動する重要な交通機関として人々に利用されました。戦後はレジャーの足として、市民に親しまれていたそうです。「干潟のある海へ釣りや海水浴、潮干狩りに来る人もたくさんいました。昔はレジャーも、移動は車じやな

くて列車でしたね。」太田さんが残している写真の中から、貴重な当時の写真をお借りしました。息子さんと奥さんが写っている写真です。その後ろに今も残るアーチの石橋があり、石炭を運ぶトロッコ列車が写っています。当時の姿を残す大変貴重な資料です。

「次男三男のまち」と呼ばれた駅周辺

当時の和白駅に関わるエピソードで、興味深い話を太田さんから伺いました。和白の駅周りの界限は、『次男三男のまち』と言われたそうです。家業を守る長男ではなく、次男や三男が駅周辺に出てきたことが由来だそうです。「うちの材木店も、長男坊ではない父が駅前に出てきて始めたんで、その中の一人ですよ（太田さん）」

駅の開設や硝子工場の発足で急速に発展した和白駅周辺。運送店、雑貨店、割烹旅館、社宅、床屋、飲酒店などが次々と出店され、まちには定期的に芝居も来るなど、活気があったそうです。「和白村と呼ばれる時代には、和白駅周辺は一番にぎわったことが自慢じゃなかろうか。」そんな言葉を太田さんから最後に頂きました。



▲エリアマップ



① 駅のそばのアーチ状の橋の上を、トロッコ列車が走っている貴重な写真。撮影時期は、昭和30年代頃。



② 当時、煙を吐き出しながら、和白のまちの中を走っていた汽車。



③ 和白駅の近くにあった旅館での集合写真。多くの人で賑わっている様子がうかがえる。



この人に聞きました！

太田 稔さん

太田材木店

地域  団体

わじろ元気印

— この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 —

防災を考える。博多あん・あんリーダー会東支部

何よりもまず知って、有事に備える

熊本地震をきっかけに、自然災害に対する防災の意識が高まっています。今回は、福岡市東区を中心に地域や企業の防災力向上のために活動している「博多あん・あんリーダー会東支部」です。代表の城下邦芳さんにお話を伺いました。

一団体の紹介をしてください。

2005年の福岡県西方沖地震をきっかけに発足しました。当時、福岡市が防災力の向上を目的として、地域や企業における防災のリーダーを養成した「博多あん・あん塾」というのがありました。あん・あんとは「あんぜん」「あんしん」の頭文字です。その塾の卒業生が活動している団体です。区ごとに支部があり、各区で楽しくわかりやすく防災を知ってもらうために、紙芝居や落語、腹話術を用い、啓蒙活動に励んでいます。東支部では、昨年3月から「さくらちゃん」の腹話術を取り入れ、小さいお子さん向けに親子でも防災について学べるようにしています。

一日頃から気をつけることは？

①災害に対する準備②災害時の情報共有
③災害への意識の3点です。災害はいつ起こるかわからない。家具の転倒防止への備



え、非常持ち出し袋の用意、避難経路、避難場所の確認等、前もっての準備が大切です。また人によって役割を限定するのではなく、誰でもできる防災体制作りをしてください。家族、地域、企業によって状況は異なりますが、それぞれで協力体制を構築しましょう。大切なのは「私だけは大丈夫」という意識を捨てること。誰にでも起こることだと認識し、常に防災に対して自分自身が学ぼうとする姿勢を保つことが重要です。

一何よりも災害時で大切なことは？

災害時はまず、「自分の命を守ること」が

最優先です。それには防災について知ることから始めましょう。各地区にあん・あんリーダー会のメンバーがいます。災害について学び、考え、緊急時に備えましょう。詳細は福岡市の出前講座や、福岡市市民局防災・危機管理課、各区の地域支援課にお問い合わせください。



この人に聞きました！

城下 邦芳さん

博多あん・あんリーダー会
東支部 代表

※ 興味がある方は、本文中にある福岡市の窓口にお問い合わせください。



応援課だより

— 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 —

応援課に相談だ！②「団体リスト」ご活用ください。

応援課では6月から、地域のサークル、団体の活動に興味がある方、参加したい方々へ向けた、新しい試みを始めました。当館を利用するサークルや団体の中から、仲間を募集している、また活動を積極

的に広報したい方々を紹介している「団体リスト」を、館内で公開しています。見学などをご希望の際には、応援課スタッフがサークルや団体の方におつなぎいたします。ご活用ください！

応援課へのご相談や
お問い合わせはコチラまで

☎ 092-608-8480

✉ support@wajiro.info

相談員・スタッフが対応いたします。
日程調整から、お気軽にお電話ください。
応援課情報も載っているFacebook!
<https://www.facebook.com/komisenwajiro>
チェックよろしく願いいたします！